

2026年8月3日

株式会社Hakuhodo DY ONE

Hakuhodo DY ONE の「ONE-AIO Lab」とスパイスボックス、

AIフレンドリーなYouTube動画制作・マーケティング支援で戦略的連携を開始
～AIOの知見と動画制作力を融合し、AI検索における動画マーケティングをワンストップで支援～

株式会社Hakuhodo DY ONE（本社：東京都港区、代表取締役社長：北爪宏彰、以下 Hakuhodo DY ONE）と株式会社スパイスボックス（本社：東京都港区、代表取締役社長：田村栄治、以下 スパイスボックス）は、AIO（AI最適化）領域における戦略的連携を開始いたしました。本連携は、博報堂DYグループの横断的なAI専門家集団HCAI Professionalsの活動として、Hakuhodo DY ONEが運営するAIOの研究開発組織「ONE-AIO Lab」※にスパイスボックスが参画するものです。両社はそれぞれが持つAIOおよび動画制作・コンテンツ企画の豊富な知見と実績を掛け合わせ、AI検索との親和性が高いYouTube動画を起点として、急速に進化するAI検索環境におけるAIフレンドリーなYouTube動画マーケティング支援サービスの共同開発・提供を推進してまいります。



■背景

生成AIを活用した検索体験が急速に普及するなか、各種AI検索サービスにおいて、回答の根拠として動画コンテンツを引用・参照するケースが増加しています。なかでもYouTube動画は、AI検索サービスが回答の根拠として引用・参照する傾向があり、AI検索環境において特に重要なコンテンツ資産として位置づけられています。しかし、AI検索に最適化されたYouTube動画コンテンツを制作・設計

できる企業はいまだ限られており、従来のVSEO（動画SEO）の知見に加え、テキストコンテンツのAIOとは異なる専門的なアプローチを必要とします。そのため、AIが動画を参照する際のアルゴリズムをふまえた、コンテンツ制作・設計の高度化が急務となっています。

こうした背景のもと、博報堂D Yグループのデジタル領域を担う Hakuhodo DY ONE と、多数の企業の動画コンテンツ制作・ブランディング支援を手がけるスパイスボックスは、「ONE-AIO Lab」を基盤として連携し、YouTube 動画を起点とした AI 検索対応の動画マーケティング戦略の高度化と、新たなサービスの開発に共同で取り組みます。

■主な連携内容

1. AI 検索における YouTube 動画の引用メカニズムの研究

AI 検索がどのような YouTube 動画コンテンツを優先的に参照・引用するかについて、両社で共同研究を進めます。得られた知見を継続的に蓄積・体系化することで、YouTube 動画の AI 検索活用における最適解を探求します。

2. YouTube 動画×AIO 領域における一貫した支援

対策すべきキーワードの選定からコンテンツ設計、YouTube 動画の企画・制作、公開後の効果検証まで、YouTube 動画×AIO 領域における一連のプロセスをワンストップで支援します。「ONE-AIO Lab」が持つ AIO 知見と、スパイスボックスのソーシャルビッグデータを起点としたターゲット策定・コンテンツ企画制作力を組み合わせることで、各企業の課題に即した最適なソリューションを提供します。

3. 動画×AIO ソリューションの段階的な拡張

本連携では、AI 検索との親和性が高い YouTube 長尺動画を起点として研究・サービス提供を開始します。AI 検索の技術革新に継続的に対応しながら、将来的には動画・SNS・オウンドメディアを横断した、コンテンツマーケティング全体を支援するソリューションの構築を目指します。

今後も両社は、急速に進化する AI 検索環境における動画コンテンツの可能性を切り拓き、企業のブランド情報が AI 検索において適切に届く未来の実現に貢献してまいります。

※ 「ONE-AIO Lab」：AI 検索におけるブランド戦略の設計と、事業成長の支援を専門とする AIO（AI 最適化）の研究開発組織。ブランド情報の可視化や AI 回答の評価、情報発信戦略の策定・効果検証、検索アルゴリズムの研究を推進しています。企業が最適な情報発信戦略を策定するためのソリューションを開発・提供し、AI 時代における企業のブランド価値向上と持続的な成長に貢献しています。

参照：当社リリース https://www.hakuhodody-one.co.jp/news/news-release_202510024343/

■株式会社スパイスボックス <https://www.spicebox.co.jp/>

企業やブランドへの好意、共感醸成を支援する、コミュニケーション・カンパニー。2003 年、デジタルエージェンシーとして創業。さまざまな企業のブランディング支援を手掛けています。スマートフォン、ソーシャルメディア

アが一般化して以降は、"生活者"に共感を呼ぶ「エンゲージメント・コミュニケーション（*）」施策の設計、提供を強みとし、さまざまなクリエイターやアナリストとともに、調査からコンテンツ企画、制作、発信までを一気通貫でサポートいたします。

＊「エンゲージメント・コミュニケーション」

SNS やソーシャルメディア上の生活者の反応データ（いいね！やシェア、コメント、リツイートなど、マーケティング用語で「エンゲージメント」と呼ぶ）を分析、活用して企業と生活者をつなぐコミュニケーション施策を設計すること。企業やブランドのメッセージをターゲットに届けやすくするために、SNS やソーシャルメディア上のデータからターゲットが持つ興味や問題意識、トレンド、社会状況などを把握して施策に活かす。スパイスボックスが定義。

本社所在地：東京都港区虎ノ門4-1-1 神谷町トラストタワー23階 WeWork 内

代表者：代表取締役社長 田村栄治

出資社：株式会社博報堂、株式会社 Hakuhodo DY ONE ほか

設立：2003年12月15日

事業内容：デジタル領域のマーケティング・広告コミュニケーション事業

以上

<会社概要>

■株式会社Hakuhodo DY ONE <https://www.hakuhodody-one.co.jp>

Hakuhodo DY ONEは、インターネット広告黎明期より培ったデジタル広告の知見とノウハウを活かし、統合的なデジタルマーケティングサービスを提供しています。マーケティング戦略立案力、クリエイティビティ、高度な運用力と技術開発力、媒体社・プラットフォームとの強固な関係性を強みとし、国内外のクライアント企業に対して、デジタル起点でのマーケティング戦略やテクノロジー活用を包括的に支援します。

博報堂DYグループの「デジタルコア」として、グループ内のナレッジやリソースを集約し、高い専門性と提案力を併せ持つ企業として業界随一のデジタルマーケティング事業会社となることを目指します。

クライアント企業にとって唯一の「ONE」の存在となるため常に挑戦・前進し、事業成長を支援するビジネスパートナーとして伴走することで、クライアント企業の持続的な成長と、企業価値向上に貢献してまいります。

本社所在地：〒107-6316 東京都港区赤坂5丁目3-1 赤坂Bizタワー

代表者：代表取締役社長 北爪宏彰

株主：博報堂DYグループ100%

社員数：3,290名（2026年4月1日時点）

創立：2024年4月1日

事業内容：デジタルマーケティング全般にまつわる企画・コンサルティング・代行事業・投資事業

【本件についてのお問い合わせ】

株式会社Hakuhodo DY ONE

広報担当 E-mail：info-pr@hakuhodody-one.co.jp